

# 平成22年度 外務省ODA予算の概要

平成22年1月

## I. 22年度当初予算

(単位:億円)

	平成21年度		平成22年度	
	予算額	伸率	予算額	伸率
政府全体	6,722	▲4.0%	6,187	▲7.9%
<u>うち 外務省</u>	<b>4,363</b>	<b>▲1.0%</b>	<b>4,134</b>	<b>▲5.3%</b>
無償資金協力	1,608	1.3%	1,542	▲4.2%
JICA運営費交付金	1,558	1.3%	1,480	▲5.0%
JICA有償部門交付金	70	▲48.1%	0	▲100.0%
分担金・拠出金	502	▲1.8%	514	2.4%
援助活動支援等	624	▲1.7%	598	▲4.1%

## II. 21年度第2次補正予算追加額

(単位:億円)

政府全体(全額:外務省)	1,458
【内訳】	
>アフガニスタン支援経費	487億円 (総額:499億円)
>アジア・アフリカ等気候変動緊急支援	711億円
>世界エイズ・結核・マラリア対策基金への拠出	189億円
>その他:国連分担金	0.5億円 (総額:4億円)
>その他:国連平和維持活動(PKO)分担金	71億円 (総額:1,013億円)

## III. 22年度当初予算の形態別概要

### >無償資金協力 1,542億円 (▲67億円、▲4.2%)

- コスト削減等を行った上で、事業仕分けの結果等を受け、施設型(ハード)への支援から「ソフト」、「人」への支援にシフト。  
⇒コストの削減▲14億円  
事業仕分けの結果を踏まえた削減額▲30億円 等
- 「選択と集中」により、アフガニスタン支援、環境・気候変動関連支援、NGO との連携強化といった主要外交政策については必要額を確保。  
⇒アフガニスタン支援 187億円、NGO との連携 34億円、  
環境・気候変動問題への対応 210億円

### >JICA運営費交付金 1,480億円 (▲79億円、▲5.0%)

- コスト削減等を行った上で、事業仕分けの結果等を受け、調査研究経費等を削減。  
⇒業務コスト及び管理コストの削減▲21億円  
事業仕分けの結果を踏まえた削減額▲29億円 等
- 「選択と集中」により、アフガニスタン支援、NGO との連携強化といった主要外交政策については必要額を確保  
⇒アフガニスタン支援 109億円、NGO との連携 74億円 等

### >分担金・拠出金 514億円 (+12億円、+2.4%)

- 分担金及び義務的拠出金については、国際的な義務を誠実に履行
- 世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金 60億円 (新規)  
⇒我が国の国際公約を早期に実現する観点からも、H22 当初予算に計上
- その他の任意拠出金(総額 247億円 (▲47億円、▲16%))については、厳しい財政事情の下、開発・人道支援関係機関に配慮するなど、国際機関間でメリハリづけ  
⇒国連開発計画 (UNDP) 拠出金コアファンド 69億円 (▲7.4億円、▲9.7%) ※対前年度外貨▲1.1%  
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 拠出金 53億円 (▲4.0億円、▲7.0%)  
国連児童基金 (UNICEF) 拠出金 15億円 (▲1.6億円、▲9.7%) ※対前年度外貨▲1.1%  
国連世界食糧計画 (WFP) 拠出金 6億円 (▲0.7億円、▲9.7%) ※対前年度外貨▲1.1% 等

### >援助活動支援等

- 在外公館における経費 等